



# 学校だより

No. 4 さいたま市立神田小学校  
令和6年 6月28日発行 Tel (853) 4377  
URL : <http://jinde-e.saitama-city.ed.jp/>

## 学校教育目標

○人間性豊かで 21世紀を  
たくましく生きる神田の子  
・かしこく・たくましく・あたたかく

## 3つのC

校長 中村 誠

### 「Chance(チャンス)にChallenge(チャレンジ)してChange(チェンジ)しよう！」

神田小学校に着任するにあたり、令和5年度の学校だよりを読んでいく中で、この言葉に出会いました。とても素敵な言葉だと感動したのを記憶しています。人は人生を歩いていく中で、様々な出来事が必ずあります。それは楽しいことばかりでなく、とても辛く苦しい困難もあるはずです。そんな時「今こそ自分がチェンジするチャンス！」とチャレンジすることができるかどうかで、その後の人生が大きく変わると言っても過言ではありません。「チャンスにチャレンジしてチェンジ！」という言葉は、子どもたちにわかりやすく、そして端的に、大事なことを伝えた素晴らしい言葉だと思います。

運動会が終わってすぐ、6年生の子どもたちは、校内バスケット大会・親善球技大会に取り組みました。ボールに慣れず、ルールもきちんとわからない状況から練習する6年生は、練習を重ねるごとに上たちしていきました。また、最初は自分がプレーすることだけで精一杯だったのが、次第に仲間同士で助け合う姿が見られ、チームプレーができるようになっていきました。校内バスケット大会では、1試合目から、子どもたちのプレーがみるみる上達していくのを見て、その感動から終始目を離すことができませんでした。親善球技大会でも、相手校をリスペクトしながら全力でプレーする姿を見て、6年生がこの1ヶ月でさらに大きく成長したなと感じました。まさに、6年生全員の「チャンスにチャレンジしてチェンジ」する姿が見られたと思っています。

コロナ禍を経て、私たちは「これから先、何が起こるかかわからない。」ということ学びました。予測不可能な時代といわれる昨今において、「チャンスにチャレンジしてチェンジ！」という言葉は、これから社会で活躍する子どもたちにはとても大事な言葉であり、持ち続けてほしい言葉だと思っています。どんな時代になっても、自分の人生には自分しか責任をもてません。子どもたちが、自らの人生を切り拓くためにも、学校・保護者・地域が一体となって「チャンスにチャレンジしてチェンジする」子どもたちを育てていきましょう。これからも御理解と御協力の程、お願い申し上げます。



1年生のアサガオが咲き始めてきました。

さて、早いものでもうすぐ夏休みとなります。夏休みは普段の学校生活では経験できない貴重な時間です。まさに「チャンスにチャレンジしてチェンジする」絶好の機会だと思います。夏休みに入る前に、御家庭でどんな夏休みにしていきたいか、お子様と話し合う時間を取ってみませんか。「家のお手伝いではなく、夏休みの間は仕事として〇〇に取り組む！」「旅行も兼ねて、旅先で色々なことを体験してみる！」「今までやったことない夏休みのコンクールに挑戦してみる！」など、様々な機会(チャンス)にチャレンジしてチェンジした子どもたちに、2学期の初めに会えることを心より楽しみにしております。